

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2017-115010(P2017-115010A)

【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2017-024

【出願番号】特願2015-251287(P2015-251287)

【国際特許分類】

C 1 1 D	17/08	(2006.01)
C 1 1 D	3/04	(2006.01)
C 1 1 D	3/395	(2006.01)
C 1 1 D	1/75	(2006.01)
C 1 1 D	3/37	(2006.01)
C 0 2 F	1/00	(2006.01)
B 0 1 D	24/46	(2006.01)
B 0 1 D	29/62	(2006.01)
C 2 3 G	1/19	(2006.01)
B 0 8 B	3/08	(2006.01)

【F I】

C 1 1 D	17/08	Z A B
C 1 1 D	3/04	
C 1 1 D	3/395	
C 1 1 D	1/75	
C 1 1 D	3/37	
C 0 2 F	1/00	J
B 0 1 D	23/24	Z
C 2 3 G	1/19	
B 0 8 B	3/08	Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月16日(2018.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アルカリ金属水酸化物と増粘剤との水分散液又は水溶液と、

次亜塩素酸アルカリ金属塩と、

界面活性剤と、

の混合物であることを特徴とする水処理施設を洗浄するための洗浄剤組成物。

【請求項2】

アルカリ金属水酸化物と次亜塩素酸アルカリ金属塩と増粘剤との水分散液又は水溶液と

、  
界面活性剤と、

の混合物であることを特徴とする水処理施設を洗浄するための洗浄剤組成物。

【請求項3】

前記界面活性剤がアルキルアミンオキシドであることを特徴とする請求項1又は2に記

載の洗浄剤組成物。

【請求項 4】

増粘剤がポリアクリル酸系重合体であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の洗浄剤組成物。

【請求項 5】

洗浄剤組成物の全体に対して、前記増粘剤が 0 . 0 5 ~ 1 0 質量 % 含まれることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の洗浄剤組成物。

【請求項 6】

洗浄剤組成物の全体に対して、アルカリ金属水酸化物が 0 . 1 ~ 1 0 質量 % 、次亜塩素酸アルカリ金属塩が 0 . 1 ~ 1 5 質量 % 、及び増粘剤が 0 . 0 5 ~ 1 0 質量 % 含まれ、更に水が洗浄剤組成物の全量を 1 0 0 質量 % とする量で含まれることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の洗浄剤組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の洗浄剤組成物を容器に充填してなる洗浄剤物品。

【請求項 8】

アルカリ金属水酸化物と増粘剤とを水に分散又は溶解して、アルカリ金属水酸化物と増粘剤との水分散液又は水溶液を得る分散又は溶解工程と、

前記水分散液又は水溶液に、次亜塩素酸アルカリ金属塩及び界面活性剤を添加する添加工程と、

を有することを特徴とする洗浄剤組成物の製造方法。

【請求項 9】

アルカリ金属水酸化物と次亜塩素酸アルカリ金属塩と増粘剤とを水に分散又は溶解して、水分散液又は水溶液を得る分散又は溶解工程と、

前記水分散液又は水溶液に、界面活性剤を添加する添加工程と、

を有することを特徴とする洗浄剤組成物の製造方法。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の洗浄剤組成物を、前記水処理施設の洗浄対象に対して 5 0 ~ 1 0 0 0 g / m<sup>2</sup> の割合で施して洗浄することを特徴とする水処理施設の洗浄方法。

【請求項 11】

前記洗浄対象が、水処理施設のスクリーンであることを特徴とする請求項 8 に記載の水処理施設の洗浄方法。